



令和 7 年度当初予算 の主な取組について

1 公立中学校における部活動の地域移行に係る県の取組

(1) 目的

令和5年度～7年度の改革推進期間において、各市町村が、地域の実情に応じて中学校部活動の地域移行の取組を進められるよう、令和5年10月に示した「公立中学校における部活動の地域移行に係る神奈川県の方針」に基づき、取組を進める。

(2) 主な事業内容

事業名	概要	実施予定時期
①県部活動地域移行連絡会等の開催	市町村や地域のスポーツ・文化芸術団体等が、部活動の地域移行に係る県内外の先行事例や県内各地域の状況を共有することのできる情報連絡会や広域的な課題等を協議する会議を開催する。	年2～3回 今年度：3回 (7・10・2月)
②地域クラブ活動コーディネーター配置	市町村がそれぞれの実情に応じて、部活動の地域連携や地域移行を段階的に推進できるよう、各市町村の取組の進捗の把握や近隣市町村間の連携に係る情報共有など、市町村の体制整備を支援する地域クラブ活動コーディネーターを配置する。	年間
③かながわ地域クラブ活動指導者データベースの利用促進	現在、県ホームページ及びe-kanagawa電子申請システムで運用している、「かながわ地域クラブ活動指導者データベース」をシステム化して利便性・機能性を向上させ、指導者の登録・活用を促進する。	10月～
④地域クラブ活動指導者研修講座の実施	これまで対面形式で実施していた「地域クラブ活動指導者研修講座」をオンライン化して利便性を向上させ、「かながわ地域クラブ活動指導者データベース」の更なる登録促進を図る。	10月～
⑤地域クラブ活動への移行に向けた実証事業	運営団体・実施主体等の体制整備、実技指導を行う指導者の確保、関係団体・分野との連携等について、先行的に取り組む市町村で実証事業を実施する。	市町村ごとに実施

2 タレント発掘・育成事業

(1) 目的

ジュニア期から優れた能力を有する人材（タレント）を**発掘**し、計画的にトップアスリートに必要な資質・能力の**育成**を図り、神奈川育ちのトップアスリート輩出を目指す。



(2) 主な事業内容

小学生期

中高生期

※令和7年度新規事業

成年期

かながわジュニアチャレンジプロジェクト

かながわU-18アスリートプロジェクト（仮称）

個人の適性に応じたスポーツを模索する種目適性型による発掘・育成

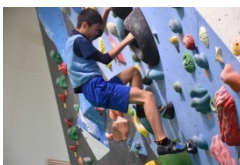
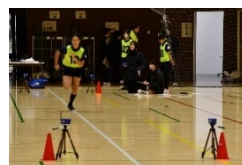
自身の特性を活かすことのできる別の種目への転向等を行う種目最適（転向）型による発掘・育成

発掘（小学4年）

育成（小学5・6年）

再発掘・育成（中高生期）

目指す姿



スポーツ能力測定会とスポーツ競技体験会を実施し、運動能力と競技特性の両面から優秀な能力を有する児童（タレント）を発掘し、タレント育成能力開発プログラムによりトップアスリートの基礎を身に付けます。
（※障がいのある児童含む）

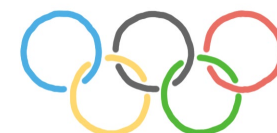
中高生期の県内の優秀な人材の再発掘と、競技団体と連携した育成（種目に特化した転向支援）
※競技団体への負担金交付

①ジュニアチャレンジ修了生の種目転向をサポート

②トライアウトによる人材の再発掘と、その後の種目開始、転向にともなうサポート

神奈川育ちの
トップアスリート

オリンピック
パラリンピック
国際大会など



(3) スケジュール（予定）

小学生 発掘・育成（5月～）、中高生期 再発掘・育成（6月～）

3 サイクルツーリズムの更なる推進

(1) 目的

令和5年12月に作成した「ジャパンエコトラックルートマップ神奈川」の14本のサイクリングルートを活用して、「**滞在型サイクルツーリズム**」を推進する。

【滞在型サイクルツーリズムとは】

体力や目的に応じてサイクリングで県内各地の魅力を楽しみながら周遊し、**宿泊施設や観光スポット等への滞在**を促しながら、サイクリングの魅力向上や観光消費の増加を目指す取組



(2) 主な事業内容

事業名	概要	実施予定時期
①滞在型サイクルルートプランの作成	既存の14本のサイクリングルートを基本に、1泊2日以上 of 宿泊プランを含めた「滞在型サイクリング」を楽しめるルートプランを作成。【6プラン】	4～7月
②メディア向けツアーの実施	滞在型サイクルルートプランをメディア関係者、インフルエンサー等に体験してもらうツアーを企画・実施。⇒記事・SNS等で情報発信！	8～2月
③デジタルスタンプラリーの実施	滞在型サイクルルートプランを活用し、観光名所等を巡る「デジタルスタンプラリー」を市町村・民間等と連携し企画・実施。	9～2月
④観光客の受入環境の整備支援	宿泊事業者等が行うサイクルツーリズムの取組（サイクルラック、空気入れ等の整備）に対し補助。【補助率：1/2、補助上限額100万円】	7月頃募集

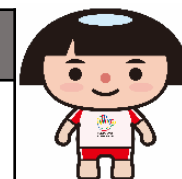
4 デフリンピックの機運醸成

(1) 目的

東京2025デフリンピック開催年にイベント等を開催することにより、大会全体の機運を醸成し、大会を契機に、聴覚障がい者への理解やパラスポーツを推進し、共生社会の実現をスポーツから発信する。

(2) 主な事業内容

項目	内容
①デフリンピック機運醸成	直前イベント・壮行会の開催、プロスポーツチームの試合会場等でのPRブース出展を行う。
②大会のレガシー構築	ドキュメンタリー番組の製作及び放映。
③事前キャンプの受入れ	ポルトガルチームの事前キャンプを県立スポーツセンターにて受入れ、県民との交流を図る。
④県内の子どもたちの観戦機会の創出	大会運営委員会と連携し、県内の子どもたちの大会観戦機会を創出する。
⑤シティドレッシング	トレインビジョンへの動画放映や、県全体でデフリンピックを応援していることが伝わる物品（垂れ幕、バナーフラッグ、ポスター、幟など）を作成し、県立スポーツ施設や各市町村での掲出を行う。



東京2025デフリンピック応援隊
かながわキンタロウ

東京2025デフリンピック1年前イベントの様子
(令和6年11月30日(土))



(3) 東京2025デフリンピック大会期間

令和7年11月15日(土)～11月26日(水) 12日間

5 アーバンスポーツの普及促進

(1) 目的

子どものスポーツ実施率の向上を図るため、スケートボードをはじめとするアーバンスポーツの普及を促進する取組として、県内各地で体験会を開催するとともに、市町村が提案するアーバンスポーツ施設等の整備に対して補助する。

(2) 主な事業内容

ア アーバンスポーツの発表会、体験会の開催等

アーバンスポーツを身近なスポーツとするため、誰でも参加し、技を披露できる発表会や県内各地での体験会を開催するとともに、ルール・マナー等の普及啓発を行う。

イ アーバンスポーツの環境整備

県内のどの地域でも、身近な場所でアーバンスポーツができる環境を整備するため、市町村が行うアーバンスポーツ施設等の整備に対して補助する。

【補助率 1/2 、1 提案当たり補助上限額 500 万円】

また、アーバンスポーツの普及促進やすそ野を広げるため、アーバンスポーツ施設整備に向けた基礎調査を実施する。



6 その他の主な取組

視点1 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進

(1) 県民スポーツ月間の設定

ア 目的

県民がスポーツに親しみ、スポーツに対する関心及び理解を深めるきっかけづくりとして、10月を「県民スポーツ月間」と定めている。

イ 主な事業内容

「県民スポーツ月間」を中心とした9月～11月に県や市町村、関係団体が実施するイベント等を広く募集し、その周知を行う。また、かながわスポーツプラットフォームを活用し、プロスポーツチームとの連携を行う。



県民スポーツ月間

(2) 3033（サンマルサン）運動の推進

ア 目的

県民が運動やスポーツに親しみ、健康で明るく豊かな生活を営むことができるように、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化する「3033運動」を中心とした健康・体力づくりを推進している。

イ 主な事業内容

イベント等で広く県民を対象に体力測定を行い、自己の体力や運動能力を把握してもらい、スポーツ活動を促す「3033体力測定会」等の事業を実施する。



3033体力測定会

6 その他の主な取組

視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進

(1) 競技力向上に資する取組

ア 目的

神奈川育ちの選手が、国民スポーツ大会等の国内大会やオリンピック等の国際大会で活躍できるよう、選手の育成及び強化を行う。

イ 主な事業内容

- ・ 国民スポーツ大会への派遣支援
- ・ 全国障害者スポーツ大会への派遣支援
- ・ スポーツ医・科学、栄養サポートの支援



第78回国民スポーツ大会
「SAGA2024」
(神奈川県選手団)



第23回全国障害者スポーツ大会
「SAGA2024」
(神奈川県選手団結団式)

(2) 市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会の開催

ア 目的

市町村対抗形式の競技会を通じて、各市町村相互の交流を図り、併せて県民のスポーツ水準の向上を図る。

イ 主な事業内容

- ・ 開催期日 例年2月第2日曜日
- ・ コース 山北町丹沢湖周回コース
- ・ 区間 7区間（中学生区間や女子区間含）
- ・ 参加、来場者数 1,547人（今年度実績）
- ・ その他 大学エキシビジョンレースを同時開催



第79回市町村対抗かながわ駅伝競走大会

6 その他の主な取組

視点3 スポーツの持つ力による地域活性化、共生社会の実現

(1) 「かながわスポーツ・プラットフォーム」の運営

ア 目的

スポーツを通じて地域活性化など社会課題を解決するため、自治体や企業等が情報共有や連携する場として、「かながわスポーツ・プラットフォーム」を運営している。

(令和7年1月16日時点、101団体が登録)

イ 主な事業内容

テーマごとのワーキングチーム(部会)の設置等を通じて県がコーディネートし、団体間の連携を進めるほか、スポーツをテーマとした取組に関する情報、意見交換や交流促進などを実施。



かながわスポーツ・プラットフォーム

(2) セーリング海上体験会の開催

ア 目的

江の島で開催された東京2020大会・セーリング競技のレガシーとして、セーリングに親しむイベントを開催し、セーリングの更なる普及を図る。

イ 主な事業内容

セーリングの大会が行われている期間に合わせ、セーリング競技の解説や体験会などのイベントを開催する。



セーリング海上体験会

6 その他の主な取組

視点3 スポーツの持つ力による地域活性化、共生社会の実現

(1) 「かながわパラスポーツ」の推進

ア 目的

年齢、運動機能などに応じて、生涯にわたり楽しみながらスポーツをする、観る、支える「かながわパラスポーツ」を推進する。

イ 主な事業内容

「かながわパラスポーツフェスタ」などパラスポーツ体験イベントの開催や、県立スポーツセンターや特別支援学校等を活用した定期的なパラスポーツ教室の開催等を行う。



かながわパラスポーツフェスタ
(車いすテニス)

(2) 障がい者スポーツの推進

ア 目的

障がい者が余暇の充実、健康の維持・増進、競技性の追及など様々な目的を持ちスポーツに親しめるよう、障がい者スポーツを推進する。



全国障害者スポーツ大会
(陸上競技)

イ 主な事業内容

県障害者スポーツ大会を開催するとともに、全国障害者スポーツ大会の選手団派遣や関東ブロック大会への出場支援等を行う。